

つ育に北

北海道稚内養護学校
学 校 便 り
令和7年2月7日発行
第5号
発行者 岩佐 延寿

今年度を振り返って

早いもので、令和6年度も残すところ、2カ月弱となりました。感染症の影響を大きく受けることなく、児童生徒が学校生活を送ることができ、大変うれしく思っています。

今年度は運動会、学習発表会ともに感染症対策を講じながらも児童生徒と保護者、地域の皆様が一堂に集まり、日頃の学習の成果を共有し、盛大に開催をすることができました。児童生徒の元気な姿や成長した様子を感じることができ、大変有意義なひと時になりました。

一日防災教室では、宗谷総合振興局、稚内市役所にご協力をいただき、本校児童生徒、声問小学校児童、学校運営協議会会員の皆様に講話を聞き、防災食作り体験、試食をすることで防災意識を高め、交流をすることができました。高等部の作業学習では、地元企業や近隣高等学校との連携により「勇知イモ」の栽培を体験し、自分たちが栽培したジャガイモをカレーライスにして味わう貴重な経験をすることができました。

また、学習指導要領や授業づくりについて、専門家から学び、教職員の専門性の向上を図るとともに、その成果を各校の教育課程の改善や授業の充実に役立てること、地域と連携して研修を行うことで、特別支援教育のセンター的な機能を発揮することを目的に、本校と稚内東中学校、稚内東小学校、声問小学校の4校で連携を図り、地域連携研修会を開催しました。主体校である本校の授業実践の公開や本校教職員による道内外3校の学校視察研修の報告を行いました。東北福祉大学教授大西孝志氏より「児童生徒のよさや可能性を最大限に引き出す授業づくり」を演題にご講演をいただき、本校教職員、連携校教職員、地域の教育関係者で学びを深めることができました。

今後とも地域の教育力を活用しながら「学び」と「地域」と「対話」で宗谷管内唯一の特別支援学校としてセンター的な機能を高めてまいります。保護者、地域、関係機関の皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。（文責：教頭 北原 達也）



一日防災学校



勇知いも栽培



地域連携研修会



寄宿舎の様子について

寄宿舎では、小学部から高等部までの11名の児童生徒が、余暇の過ごし方、食事のマナーなどの基本的な生活習慣を身に付けています。また、集団生活の中で行事や友達との交流を通じて社会性を育み、自立を目指して明るく元気に日々を過ごしています。

寄宿舎生のみなさんは、朝6時20分頃に起床し、洗面や身支度を整えた後、食堂で朝食を摂ります。朝食後は歯磨きを済ませ、登校準備をして学校へ向かいます。私が経験した学校の中で寄宿舎から学校までの距離が最も長い稚内養護学校。強風や大雪などの悪天候時は朝から体力を消耗しますが、みなさん元気に登校し、学校生活を送っています。学校が終わり、帰舎後は宿題に取り組んだり、余暇を楽しんだりして夕食までの時間を過ごします。夕食後は週2回の入浴や余暇活動、就寝準備をして、小学部生は20時、中学部・高等部生は21時に就寝し一日を終えます。

今年度も残りわずか、みなさんがたくさんの楽しい思い出を作れるよう願っています。

(文責：教諭 増田 朗久)



高等部職場実習

高等部では、7月1日(月)～5日(金)、9月30日(月)～10月18日(金)に職場実習を行いました。

1年生は、前期は校内でいつもより長い時間の作業に取り組みました。後期は福祉事業所での仕事を体験し、報告や相談することの大切さ等を学び、働くことへの意識を高めることができました。

2年生は、前期は石塚建設の温泉水詰めを、後期は2カ所の事業所で仕事を体験しました。説明を聞いて、仕事に向かう態度も徐々に身に付き、自分自身の進路について考える良い機会となりました。

3年生は、卒業後の利用を視野に入れた実習となりました。卒業後の生活をイメージし、事業所の方に自分自身のことを知ってもらう良い機会となりました。

実習を通して、各自見つけた課題については、学校生活でじっくりと向き合い、解決していけるよう支援していきたいと思います。

職場実習を行うにあたり、保護者の皆様には、様々なご支援、ご協力をいただき感謝しております。今後とも生徒たちがより良い進路選択ができるよう支援していきたいと思います。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。(文責：教諭 中畑 美記)



3月の行事予定

【3月】

14日(金) 卒業式
20日(木) 春分の日
24日(月) 修了式

